

平成28年度 公募形式調査研究における助成対象一覧

テーマ	題名	代表者の所属機関等 (代表責任者)	研究体制	研究内容(概要)
高齢者	ドライブレコーダーを活用した高齢運転者の運転適性診断	株式会社リムライン (石田 浩)	4名	<p>高齢運転者の安全運転能力に関する評価を自動車教習所等で簡単に行える仕組みを構築するため、昨年度は、ドライブレコーダーのデータ等から高齢運転者の運転能力に係る評価手法を構築し、簡便性や即効性への見直しをつけたものである。</p> <p>本年度は、対象となる運転者を他の高齢者や非高齢者に広げて同様の調査を行い、評価手法の有効性について検証等を行うとともに、評価値と運転者の属性との関係を調査するなどし、「事故につながる可能性のある運転」を高齢者に分かりやすく伝える手法(帳票フォーマット等)を自動車教習所と協力して完成させる。</p>
高齢者	「運転時認知障害早期判定システム」構築のための基礎研究	特定非営利活動法人 高齢者安全運転支援研究会 (岩越 和紀)	9名	<p>運転時認知障害の定義を明確にし、運転能力を段階的に評価する、運転時認知障害判定診断手法を確立するため、昨年度は、軽度認知障害(MCI)の疑いがあると判定されたドライバーを対象に実車実験及びアンケート等を行い、MCIドライバーの危険運転挙動(特性)について把握したものである。</p> <p>本年度は、対象者(MCI)の一定数の確保が見込めることから、実道での日常的な運転で発現する危険挙動の把握、安全運転中央研究所における実車実験で発現する危険挙動の把握及び高齢自転車運転者の危険挙動の把握等を行い、「運転時認知障害早期判定システム」において検査すべき危険運転挙動の体系化を目指す。</p>
自転車	小学生及び高齢者の自転車運転における安全性検査の作成と有効利用	特定非営利活動法人 安全と安心心のまなびば (金光 義弘)	8名	<p>小学生及び高齢者の自転車利用における安全な運転態度を形成するため、自転車運転の安全性を評価し、指導用の資料としても使用可能な検査を新たに開発し、これにより安全な自転車運転環境の構築に貢献することを目的とする。</p> <p>具体的には、小学生用の自転車利用安全度アセスメント・ツール(検査)の作成、小学生(小・中・高学年)に対する本検査の実施、発達段階に応じたフィードバックと事後指導の方法の確立、自転車シミュレータを用いた実践教育実習の実施、本検査に係るノウハウを活用した、高齢者向けの検査・指導マニュアルの作成等により、適切かつ有効な自転車運転の安全性を評価するツールの開発を目指す。</p>
事業用自動車	ドライブレコーダ記録映像に基づく危険度推定を活用した安全運転教育システムの研究開発	国立大学法人九州工業大学 (榎田 修一)	2名	<p>事業用自動車に設置されたドライブレコーダに記録された映像情報、電子地図情報等から、運転者も認識していない、車体の挙動を計測しても検出することのできないヒヤリハットを自動で収集するための画像処理システムを構築するため、昨年度は、ヒヤリハットデータの解析等を行い、ドライブレコーダ記録映像を活用した交差点における運転挙動が自動解析可能となった。</p> <p>本年度は、追突検出、車間距離推定、一時停止履行・不履行判定を実現するとともに、画像処理エンジンの提供とあわせて実時間処理可能なシステムとしてのプロトタイピングを行う。</p> <p>その際、事業者に向け普及させるためのシステムとして展開可能な計算機構成、ユーザーインターフェイスについて、企業の視点からの考察を加える。</p>